

生命と生活の質特論

大学院の授業を公開します

心理的・社会的・メディカルな観点から、生・老・病・死の意味、脳死・安楽死と人格概念、終末期ケアをめぐる問題や病者・障害者の当事者人権について、また世界の人々の暮らしとの対比で、「今・ここ」を問いかけます。自由なディスカッションやワークショップ形式の学びあいの中で、認識を深めていきます。

回	月 日	時 間	テーマ
1	5月12日 (土)	9:00-10:30	QOLとは何か？ 大学院で学ぶとはどういうことか？
2		10:40-12:10	医療におけるQOL － QOLの評価方法 (1)
3	5月19日 (土)	9:00-10:30	〈生〉をめぐる人権のゆらぎ
4		10:40-12:10	〈死〉をめぐる人権のゆらぎ
5		13:00-14:30	医療におけるQOL － QOLの評価方法 (2)
6	6月9日 (土)	9:00-10:30	〈生〉 〈老〉 〈障〉 〈病〉 〈死〉 と ライフ・コース
7		10:40-12:10	
8		13:00-14:30	医療におけるQOL － QOL向上のための医療技術開発
9	6月16日 (土)	9:00-10:30	〈人のいのち〉の値段と〈お金〉のこと － アフリカの森に暮らして考えたこと
10		10:40-12:10	世界を旅して
11	6月23日 (土)	9:00-10:30	ただいま大規模人体実験中 － 日本人の〈地球2個分の暮らし〉
12		10:40-12:10	QOLワークショップ － 自然にふれる・いのちを感じる
13	6月30日 (土)	9:00-10:30	グループディスカッション (分科会)
14		10:40-12:10	分科会の報告と質疑応答
15		13:00-14:30	まとめ

プログラムの詳細は裏面をご覧ください。

- 部分受講もできます。
- 全回受講された方には、「山口県立大学公開授業受講修了証」を授与いたします。

開講期間 5月12日(土)～6月30日(土)

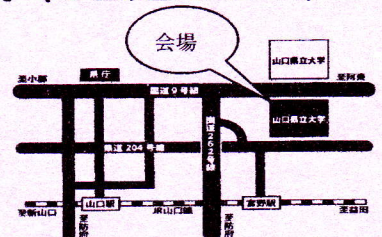
会場 山口県立大学 4号館 D14教室 受講料 1回500円 (10回以上5,000円)

お申し込み・問い合わせ 電話、FAXまたはハガキで、下記にお申し込みください。

山口県立大学附属地域共生センター 生涯学習部門

電話・FAX 083-928-3495 〒753-8502 山口市桜富3丁目2-1

申込締切 平成24年5月10日(木)



回	月日	時間	講師	テーマ	講義内容
1	5月12日 (土)	9:00- 10:30	学長 江里健輔 他 担当講師全員	QOL とは何か？ 大学院で学ぶとはどういうことか？	Life: いのち、生命、生活、人生……。なぜ、いま地域貢献型の山口県立大学大学院で Quality of life を学ぶのか。江里学長の講義(1時間)と全教員による全体の授業の進め方の説明。
2		10:40- 12:10	健康福祉学研究科教授 吉村 耕一	医療における QOL — QOL の評価方法(1)	保健医療分野における QOL 評価の意義と方法について。
3	5月19日 (土)	9:00- 10:30	健康福祉学研究科教授	〈生〉をめぐる人権のゆらぎ	胎児の人権、障害者の生きる権利と女性の産む権利について。
4		10:40- 12:10	志村 哲郎	〈死〉をめぐる人権のゆらぎ	尊厳死や自殺補助の問題を通じて死の自己決定権を考察する。
5		13:00- 14:30	健康福祉学研究科教授 吉村 耕一	医療における QOL — QOL の評価方法(2)	具体的な QOL 測定ツールを用いた QOL 評価の実際について。
6	6月9日 (土)	9:00- 10:30	健康福祉学研究科教授	〈生〉〈老〉〈障〉〈病〉〈死〉と ライフ・コース	現代社会で生起する生老障病死と現代人のライフ・コースの関係を考察する。
7		10:40- 12:10	志村 哲郎		
8		13:00- 14:30	健康福祉学研究科教授 吉村 耕一	医療における QOL — QOL 向上のための医療技術開発	
9	6月16日 (土)	9:00- 10:30	国際文化学研究科教授 安溪 遊地	〈人のいのち〉の値段と〈お金〉のこと — アフリカの森に暮らして考えたこと	アフリカと聞いたら、どんなことをイメージするだろうか。「人間は環境を破壊して生きるしかない」というのは大変な思いこみだと気づいた経験を語る。
10		10:40- 12:10		世界を旅して	フランスやスペイン、沖縄や奄美で、人々の現在の暮らし方をともに味わい、地域に根ざした伝承や芸能に耳を傾けたりする中で気付いた、日本人の生活に決定的にかけている「あるもの」に気づいた。
11	6月23日 (土)	9:00- 10:30	安溪 遊地	ただいま大規模人体実験中 — 日本人の地球2個分の暮らし	環境問題のほとんどは人権問題でもあることを、公害経験は教えている。さらに、人間以外の生き物にも、〈自然の権利〉があるという考え方を紹介する。
12		10:40- 12:10		QOL ワークショップ — 自然にふれる・いのちを感じる	山口環境教育学会の安溪貴子氏の指導によって、「いのち」を感じる授業のワークショップを実施。天気がよければ、キャンパス内の「夢の森」に出向きます。
13	6月30日 (土)	9:00- 10:30	健康福祉学研究科教授 志村 哲郎	グループディスカッション(分科会)	3室にわかれてグループディスカッション 1)〈生〉〈老〉〈障〉〈病〉〈死〉と現代人の生活 2)世界の中での日本人の暮らしと生命観 3)QOL評価をどう活かすか？
14		10:40- 12:10	国際文化学研究科教授 安溪 遊地 健康福祉学研究科教授	分科会の報告と質疑応答	それぞれの部屋での討論の内容を10分程度にまとめて、全体会で学生代表が紹介し、質疑応答する。
15		13:00- 14:30	吉村 耕一	まとめ	全員参加によるまとめと今後の展望

◆◆◆◆◆ 平成24年度 山口県立大学前期公開授業「生命と生活の質特論」 受講申込書 ◆◆◆◆◆

山口県立大学附属地域共生センター 生涯学習部門 宛 FAX 送付先 083-928-3495

(ふりがな) お名前		ご住所	〒
電話・ FAX 番号		全回受講・部分受講 (回)	